

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2022年 6月 27日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿



提出者 〒872-0312
住 所 大分県宇佐市院内町櫛野895番地
氏 名 株式会社九州イチタン
代表取締役 荻野 英司
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0978-42-7001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

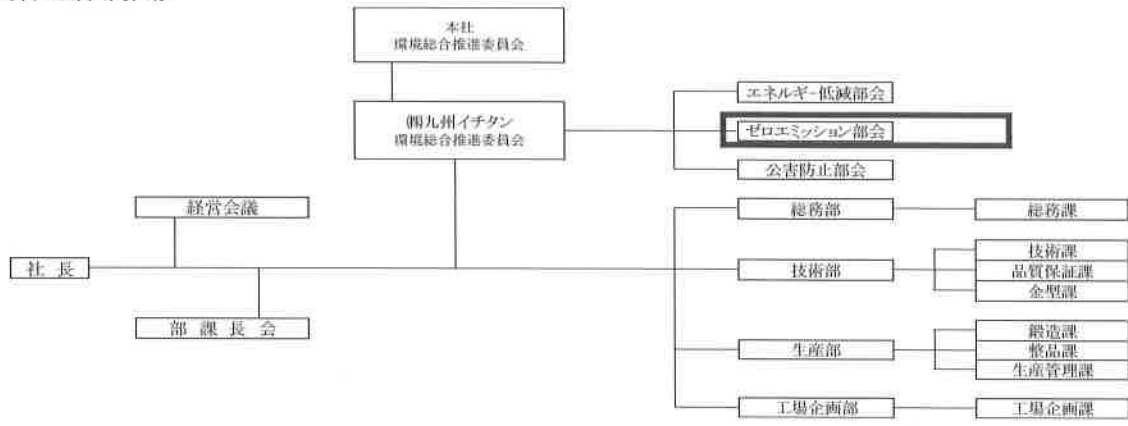
事業場の名称	株式会社 九州イチタン
事業場の所在地	大分県宇佐市院内町櫛野895番地
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E24 金属製品製造業
② 事業の規模	34億4千万円 2021年度売上高
③ 従業員数	113名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[事業場] --> B(産業廃棄) B --> C[収集運搬業者] C --> D[中間処理業者] D --> E[最終処分業者] </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	16.3 t	1326.5 t
	(これまでに実施した取組) ドラム缶残グリースの再利用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	15 t	1257 t
	(今後実施する予定の取組) ・離型剤故障による塗布量の削減 (ユニット予備品製作)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <分別種類>木屑、廃プラスチック類、ゴム、ガラス陶磁器、廃油、紙屑等 社内規定に基づいて分別・保管を実施
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 社内規定に基づいて分別・保管を実施維持継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	16.3 t	1326.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	15 t	1257 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 離型剤故障による塗布量の削減 (ユニット予備品製作)		
※事務処理欄			